

政策対話（林務部）の概要

1 テーマ

林業の担い手の確保について

2 実施概要

(1)日時

令和元年8月25日(日) 午後2時～午後4時

(2)場所

長野県林業大学校（木曾町）

(3)参加者

- 13名（森林・林業関係者、市町村・団体職員、林業大学校生、地域住民）
- 県側：林務部長、林業大学校長、雇用・就業支援担当部長、信州暮らし推進課長、信州の木活用課長、コンプライアンス・行政経営課職員ほか

※県民との対話前に林業大学校の施設見学（午後1時30分～1時55分）

3 寄せられた意見

林業の担い手の確保について	<p>【林業のイメージの向上】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 林業という仕事が社会に理解されていないのが課題。・ 朝、暗いうちから仕事に出かけて、時には命を落とした話を聞くことも。林業は、危険で過酷なイメージ。今は機械化などで環境も変わってきている。林業のイメージを変えていくことが必要。・ 林業は、持続可能な社会への貢献など、お金で評価できない意義や魅力がたくさんある。林業の魅力をもっと訴えていくことが大事。・ 最近の若者は与えられた仕事ではなく自分が納得した仕事をやりたいという傾向。安全でクリーンなイメージが大事。・ 林業を魅力ある仕事にするには「格好良さ」も大事。自分は仕事するとき、あえて派手な色の服や格好いい道具を使って、見られることも意識している。・ SNS等で若者にアピールをしていくことも効果的。・ 海外の先進林業地では安全性が重視される。チェーンソーを持って格好良いユニホームで安全な仕事だったら子どもも憧れる。海外の林業を知ってもらうことも必要。・ 林業に女性が入る環境としては、お手洗いや着替えのスペースなど課題もある。女性も活躍できる職場にしていくことが必要。 <p>【学童期における林業体験の重要性】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校高学年から中学校の頃に森林・林業に関する話を聞いたり林業体験をしてもらうことが重要。今は林業を知る機会がない。・ 子どもの頃に大型機械での伐倒などを見てもらうような機会があれば林業の格好良さも伝わる。子どもが憧れる職業にしていくことが必要。・ 林業は社会にも貢献する大事な仕事。学校や行政で林業に興味を持つきっかけになるようなカリキュラムを用意して欲しい。
---------------	---

<p>林業の担い手の確保について</p>	<p>【木材の利用の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業の魅力を知ってもらうには、まずは木の良さを知ってもらうこと。身近な場所で木を使うことを、地域の人にも観光客、外国人にも発信していきたい。 ・ 家や身の回りのものを木に変えていく。木にかかわる人たちのネットワークやイベントなど、地域でできることを重ねていけば、自然と林業のイメージも上がる。 ・ 木が売れて、たくさん使われてくるようになると賃金も上がるのではないかな。 <p>【安全性の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 林業は、危険な現場も避けられず、危険な職業であることは事実で、それに見合う収入が必要。 ・ 林業の仕事で大事なことは、何よりも安全に対するリスクマネジメント。危険性はゼロにはできないが、安全性を高めていくことはできる。 ・ 危険が避けられない環境で仕事をしなければならない以上は、リスクマネジメントとその教育が重要。 <p>【収入の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝早くから土日も関係なく仕事をしている人もいる。それだけの仕事をしてもらうにはそれだけの賃金が必要。危険に見合うだけの収入も必要だと思う。 ・ 家族を養っていく立場になれば、仕事の優先順位は収入面。その次がやりがい。自分は、今どちらも満たせているので、毎日が充実している。そうなると仲間も増えてくる。 ・ 職場の班内のチームワークを高め、生産性を上げていけば、収入にもつながるのではないかな。 ・ 事業体によって、賃金にも格差がある。仕事の質、量に対しての賃金の課題は取り上げて欲しい。 <p>【就業後の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高性能林業機械の導入が増えているので、運転や資格取得のサポートをして欲しい。
<p>林業大学校について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設、特に男子寮については、早急に建替えが必要。 ・ 林大の設備については、チェーンソーの充実など改善が図られている印象。ただ、実習用の林業機械は今では現場で使われていないような古い機械を使っているため、就職先で役に立つよう最新の機械で学ぶ環境を整備してあげて欲しい。 ・ 森林を利用する時代になり、これからは、多くの分野を精通していて色々なつながりを持っている人が必要で、全体をディレクションできる人材が必要。